

「お茶について つれづれなる思い」 私の3つのショートストーリー

チャイニーライフ公認講師 高級茶芸師 国際薬膳師 岩田 咲幸はるこ

パート：1

美味しいお茶を淹れるために、五感を鍛えている。私の中国茶教室に来る生徒さんが、「先生と同じ味にお茶を淹れられない」とよく言います。なるほど、沢山の本があり、お茶を買うと淹れ方の手ほどきのような紙が付いてくるけど、私はその通りに淹れていない。昔は、ストップウォッチ片手にお湯の温度を見ながら淹れて見たこともありましたが、すぐにやめてしまいました。だって、全然好みじゃないし、おいしいと感じられなかったから。それから、茶葉を観察して、開き具合、お湯の色、香り、または、お茶をいれる前の茶器の温め具合、そんなことから、私の美味しいタイミングを野生の本能で見極めるようになりました。

いつも生徒さんに言っています。「毎日お味噌汁を作る時、お出汁やお味噌、具の量を計らなくても美味しい自分好みの味になるでしょ。お茶も一緒。考えすぎないで、ただ観察

して感じて。」
とっても、抽象的わかりにくいけど、これが私のお茶の淹れ方。

視覚、臭覚、聴覚、温度や体感で時間を感じる。私の場合、深い深呼吸で時間を測つてめやすにしています。お茶を淹れる時、私の五感フル活動で最高に活性化している。

お茶だけでなく、相手を二番良く観察する。主役は、お茶を飲むお客様。相手の様子から、どんなお茶が良いのか、どんな様子で何を求めているか。当たり前のことですが、それが一番大事。コミュニケーションの基本は相手がいてこそ。

だから、お茶を淹れるのに五感を鍛えることはすごく大事。最近では、お教室を始める前に五感を鍛えるワークを取り入れたりしています。それをすると、みんなリラックス出来て、いい雰囲気になり、吸収も良いように感じます。

極端かもしれませんが、お茶も人も同じです。お茶とお茶とお湯かもしれませんが。人は人や物事と向き合います。相手、対象を観察して感じる。何を感じたかよくわからなくても、無意識下に何か感じているはず。五感を鍛えることでそういった無意識下のことも認識できるようにな

ると私は思っています。

ゴールは何か？ what is your Goal? 去年3ヶ月半一人でアメリカに行っていた際、いつも学校で言われていたこと。これは何にでも言える。今日の目標は？このお茶淹れの目的は？何事においても目的を見失わずに努力すれば結果はついてくる。ゴールが近づいて来ないならやり方が悪いのかもしれない。何が目標か、何を伝えたいか、表現したいか。お茶もお料理も同じ。美味しい感覚、相手を思いやる感覚を大切にすればきっと良い観察結果から美味しい幸せが出てくると思っています。楽しい気持ちでお茶を淹れたり料理すると美味しくなる。

パート：2

話は、ピュンとさかのぼり、私は東京都出身。モウレッツ忙しい丸の内OLでした。一昔前のオヤジギャル↑死語。忙しいうから、お茶を淹れる暇も味わう余裕もなく、まともな食事もなかなかできない。残業でオフィスにファストフードのデリバリーを頼んで飢えをしのいでました。すごく働いてお金がある人ほど食事が粗悪かも。結果、心も体もポロポロ。そんなこんなで、ご縁あり中国に渡り5年半。心と体を元気にしてくれる中国茶に出会って、離れられない仲になりました。

パート：3

そうこうしてまたまたご縁あり、牧之原に流れ着き、初めて日本茶の美味しさに気が付いてしまいました！ここままで、何と長い道のり！東京で普通の生活をしていて、美味しいお茶にめぐり合う機会は非常に少なく、ちょっと良い旅館や料理屋に行かないとでてこないから、すごく特別なものだと思っていました。ところが、産地では、みんな美味しいお茶を飲んでいるではありませんか！大事なのは、ここだと私は思います。東京で普通の暮らしをしている人、忙しくて家で食事できない人が、美味しいお茶と接点を持つ機会ってなかなか無いように思う。

美味しいお茶がもつと短な生活を提案したいですね。

あなたにとってお茶とは何ですか？ 私にとつてお茶とは、私の心と体を芯から元気にしてくれる飲み物で、絶対に離れられない関係。健康に良いだけでなく、私はお茶を飲んでいる時間が何とも言えず好き。魂の芯まで染み入り癒される感じがする。私は常日頃、心と体はイコールだと思っています。心の状態が良くなければ、体が疲れているのかもしれない。お茶は、とても力強く、私の心と体をサポートしてくれる非常に力強い私たちのサポーターなのです。

(いわた はるこ)